

平成26年度 事業報告書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク

1 事業の成果

シンポジウム事業では、子ども虐待防止に大きな役割を期待されている教育分野に焦点を当て、教員養成課程での虐待防止教育の重要性等が論じられた。啓発事業では、子育て支援に基づく虐待予防の取組みとして「第2回オレンジリボンフォーラム」を開催した。講演やブース展示等により親子で楽しい時間を過ごし、親同士のつながりができるよう工夫した。その他、全国レベルでのオレンジリボンマスク等の配布(15万枚)や学生による虐待防止活動等により、オレンジリボン運動の周知につなげた。鎮魂集會事業では虐待死した子どもに祈りを捧げるとともに、虐待死をなくすための「チャイルド・デス・レビュー」をテーマにした講演、トークイベントを開催し、虐待で命を落とした子どもの死因解明の重要性を認識することができた。他団体との連携では、日本子ども虐待防止学会との連携を図るとともに、全国の民間団体とオレンジリボンイベントを共催し、オレンジリボンの普及を図ることができた。以上の活動を通じて、当初の目的を実現することができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
児童虐待防止シンポジウム事業	「教育と子ども虐待」と題した基調講演の下、教育分野における子ども虐待対応の現状、海外での取組み、福祉と教育の連携について議論を行い、課題の洗い出し、今後に向けた制度のあり方について検討した。	平成27年1月25日	発明会館	約20人	約100人	1,591
児童虐待防止啓発事業	オレンジリボンフォーラム 小学生による合唱や絵本作家の講演、コンサートをはじめ、支援団体等のブースを設け、一般の子育て中の親子に仲間づくりや息抜きの場を提供し、子ども虐待防止に向けた取組みや子育てについて学ぶ機会とした。	平成26年5月25日	日経ホール	約40人	約300人	1,668
	オレンジリボン配布活動 児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンやオレンジリボンバッジ、マスクの配布、さまざまなキャンペーンへの参加等により、児童虐待のない社会の実現を目指す啓発活動を行った。	通年	全国	不特定多数	不特定多数 リボン配布数(約2万4千個) マスク配布数(約19万枚)他	17,365
	オレンジリボンポスターコンテスト 一般への啓発を目的に、全国の美術系専門学校生・大学生等を対象にオレンジリボンを用いたポスターのデザインを募集し、参加企業とともに啓発活動を行った。	平成26年1月～5月	全国 (表彰式:日経ホール)	10人	約300人	1,184
	オレンジリボン共催事業 当法人の支援団体に11月の虐待防止月間を中心に虐待防止のイベント共催を呼びかけ、全国6団体とともに虐待防止の啓発活動を行った。	平成26年度中	東京・栃木・長野・滋賀など6か所	6団体	不特定多数	1,000
	虐待で命を落とした子どもの鎮魂集會事業 児童虐待で命を落とした子どもの冥福を祈り、虐待のない社会を目指すための集會及び鎮魂の行進、「チャイルド・デス・レビュー」をテーマとする講演を実施した。	平成26年11月9日	ニッショーホール	約100人	約400人	2,441
	上映会&トークセッション 虐待を題材としたドラマ『やさしい花』を上映、ドラマを基に話し合い、参加者からの質問に答える形でトークセッションを行った。	平成26年9月21日	早稲田奉仕園 スコットホール	約10人	約70人	387
	学生委員会における啓発活動 「集え、未来をつなぐ学生たち」をテーマに学生フォーラム「オレンジリボン甲子園」を開催。学生同士で意見交換を行い、オレンジリボン運動の啓発について話し合った。また、一斉配布等の啓発活動を行った。	平成26年8月11日	オリンピック記念青少年総合センター	約10人	約40人	155
目的を同じくする団体との連携事業	被災地における子ども虐待防止に向けた支援事業 宮城県子ども総合センターとの共催で、助け合った仲間が集まり被災体験を語り合い、子ども虐待の未然防止につながる同窓会を開催した。	平成26年7、9月	宮城県	12人	約200人	738
	日本子ども虐待防止学会との連携 「子ども虐待防止世界大会 名古屋2014」でオレンジリボンマークを使った限定バッジの製作および配布への協力を行った。また、啓発グッズを頒布し、オレンジリボンの周知に努めた。	平成26年9月14-17日	愛知県名古屋市	3人	不特定多数	926